

労働政策フォーラム

女性の就業について考える  
—環境変化と支援のあり方を中心に—

キッズドア  
困窮子育て女性への  
就労支援の取組について

2023年2月20日

認定NPO法人キッズドア

# キッズドアの概要

## 団体名：認定特定非営利活動法人キッズドア

- 2007年設立、2011年東北事務所設立
- 理事長 渡辺由美子
- 常勤職員数105人、非常勤・その他225人 ※2022年12月時点



キッズドアは、**どんな境遇に生まれても、子どもが生き生きと成長できる社会の実現**に向けて、**困窮家庭の子ども**の教育支援や居場所運営、**困窮子育て家庭の保護者の支援**、**他団体に対して**当団体がこれまで蓄積してきた**事業ノウハウ**を伝える**研修事業等**を展開しています。

### 学習会の実施



### その他の主な取り組み

- ファミリーサポート：コロナの影響で困窮に陥った家庭に、支援とともに希望を届ける
- 体験学習：ITプログラミング、芸術鑑賞、自然体験等の子どもの生活を豊かにする活動を提供
- 奨学金：大学進学や資格試験の受験を志す子どもたちに金銭面、心理面のサポートを提供
- アドボカシー活動：子どもや保護者を対象とした調査・分析の実施、レポート

### 大学、専門学校進学者数

**59人** 

千葉大(医)、日本医科大(医)、広島大、中央大、法政大など

今年から始まったSBCメディカルコースなど、様々な生徒のニーズに合わせた学習支援をキッズドアは行っています。今後も難関大学に限らず、生徒の志望校に合わせたきめ細かいサポートを全国の高校生に行っていきます。

### 高校進学者数

**252人** 

今年も経済的に厳しいご家庭の中学3年生をボランティアを中心にサポートし続けました。生徒一人ひとりに寄り添った支援で今年も252名の中学3年生が高校へと進学しました。  
※キッズドアで高校進学指導を受けた252名の中学3年生が対象

### 私立高校進学者

**89人** 

公立高校進学者  
**163人**

### 年間学習会開催回数

**4,914回**

少しでも多くの生徒に参加してほしい。そんな思いでキッズドアの学習会は開催されています。今年もオンラインも含め日本全国から多くの生徒が学習会に参加し、成長をしています。



### ご協力いただいた 企業や団体

**223社・団体** 

今年も多くの皆様のご協力により、キッズドアは子どもへの支援を行うことができました。寄付だけでなく、プロボノや物資提供などのご支援が生徒の笑顔を支えています。



### ファミリーサポート物資& 情報&就労支援対象者数

**19,793人**

昨年度からスタートした「ファミリーサポート」では全国のご家庭を対象に食料や進学情報の提供に加えて、就労支援を行いました。支援した人数は延べ19,793名に上りました。

  
生徒数合計  
**1,872人**

長らくコロナ禍の中でも、今年も小学生から高校生世代まで多くの生徒がキッズドアの学習会に参加しました。対面の他、オンラインでの学習支援を引き続き行う一方で、体験活動や夕食の提供などが少しずつ再開されています。

### ボランティア人数

**925人** 

大学生から社会人、年配の方まで今年も多くのボランティアが生徒のロールモデルとして活躍しました。オンラインでの支援も定着し、今年は海外からオンラインで参加されるボランティアもいました。

小学生

**187人**

高校生世代

**786人**

中学生

**899人**

# 数字でわかる 2021キッズドア

FEATURE  
003

2021年度も多くの方に支えられ、キッズドアは活動を行うことができました。そんな2021年度のキッズドアの活動・成果の中でも特に印象的なものを数値化して表しています。

### メディア掲載数

**149回**   


今年も新聞、ラジオ、雑誌、テレビなど多くのメディアにキッズドアの活動を紹介していただきました。コロナ禍でさらに厳しくなった生徒や保護者の現状をこれからも伝えていきます。

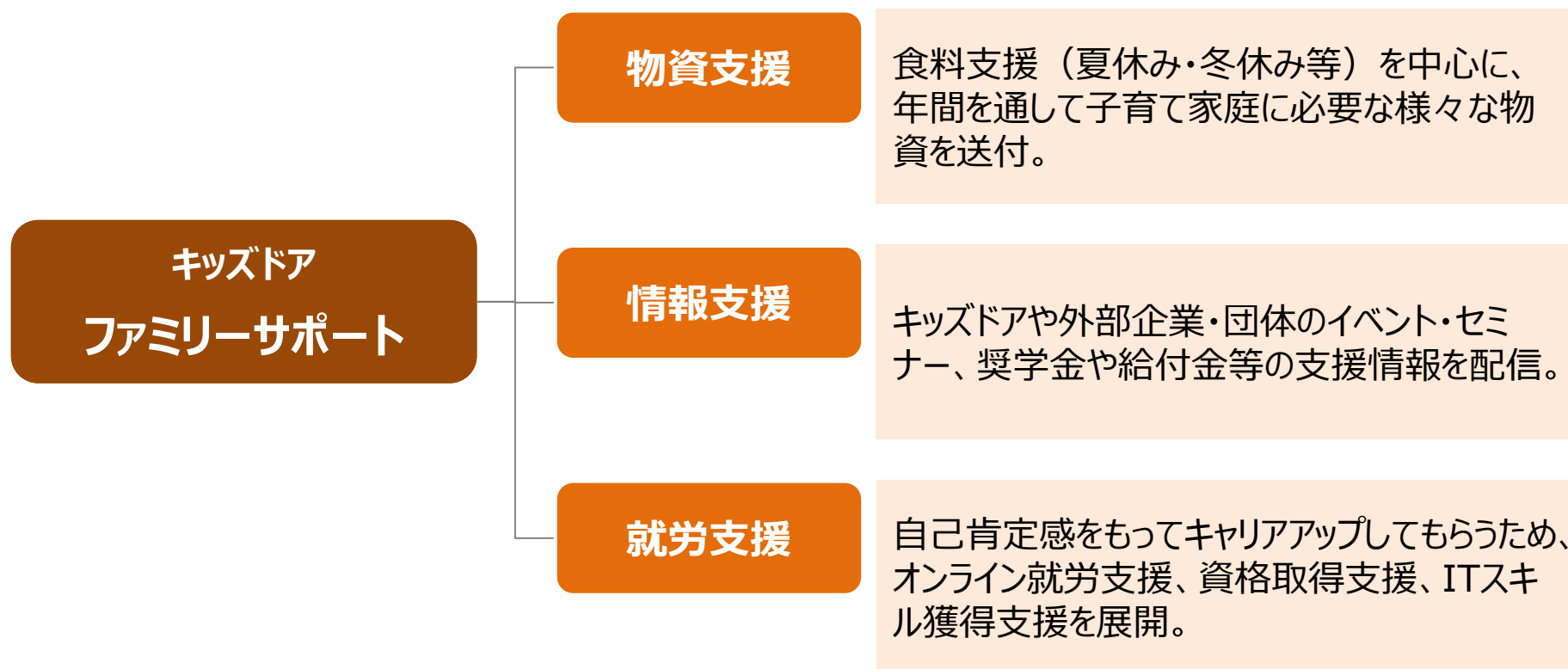
### 拠点数

**64箇所** 

東京だけではなく、千葉や埼玉、東北で学習会が開催されています。勉強を学ぶ場だけではなく生徒の第3の居場所としても開かれています。

# ファミリーサポート事業 概要

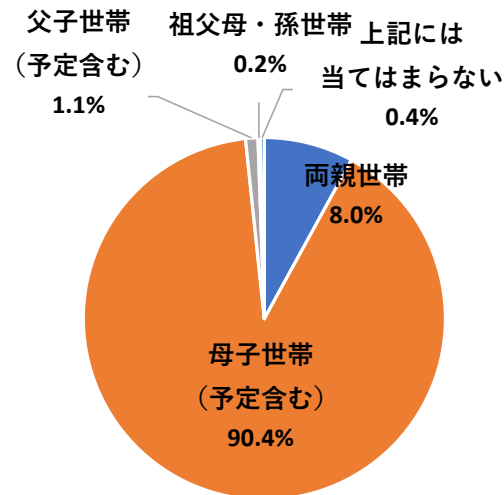
- コロナ禍の2020年にスタート。支援対象は全国の困窮子育て家庭。
- 物資支援・情報支援・就労支援により、生活安定と保護者の心の安定を図るほか、支援や調査から見えてくる困難な現状を社会や政府に提言。



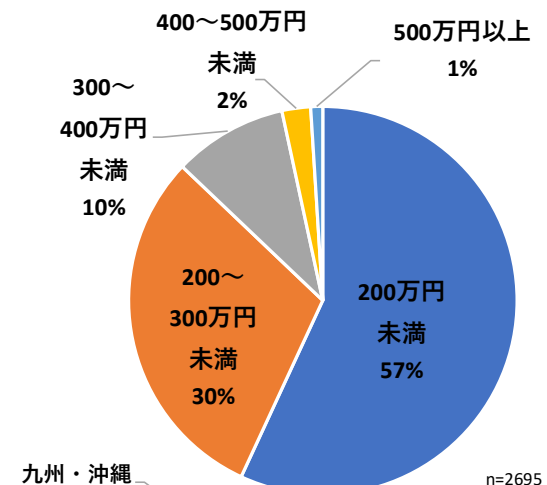
# ファミリーサポート登録者の属性

- 母子家庭が9割を占め、年収200万円未満が6割弱、年収300万円未満が9割、非正規雇用が約半数。
- 東京を含む関東圏を中心に全国に広がる。

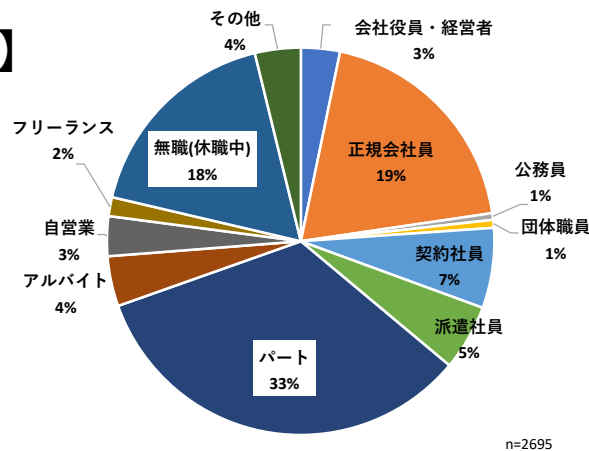
## 【世帯状況】



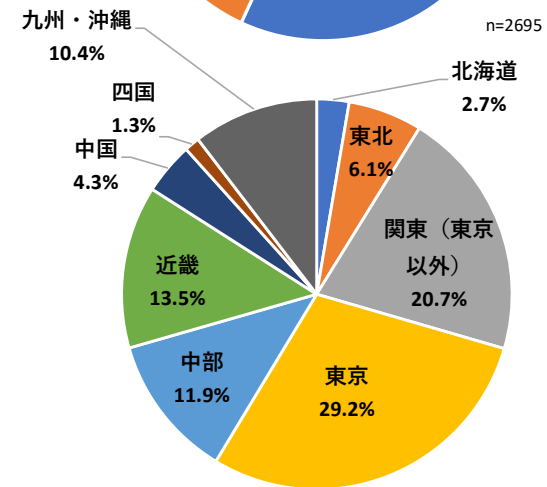
## 【世帯所得】



## 【就労形態】



## 【居住地】





# 就労支援の取組：わたしみらいプロジェクト①

- 子どもを持ち働く非正規雇用者を主な対象とした「無料」・「オンライン」による「寄り添い型」の新たな就労支援の試み。

<p><b>目的</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 無料で実施：既存の就労支援メニューを利用できていない層にリーチ</li> <li>• オンラインで実施：全国の困窮子育て世帯にリーチ</li> <li>• 対象者に寄り添う：既存のセーフティネットからこぼれ落ちている層にリーチ</li> </ul>
<p><b>対象</b></p>	<p>ファミリーサポート登録者 計311名          第1期：52名、第2期：55名、第3期：51名、第4期：41名、第5期：55名、第6期：57名</p>
<p><b>スケジュール</b></p>	<p>第1期：2021年1月～6月、第2期：2021年7月～9月、第3・4期：2021年10月～12月、第5・6期：2022年1月～3月</p>
<p><b>財源</b></p>	<p>東京海上日動キャリアサービス「働く力応援基金」、          令和3年度 厚生労働省 生活困窮者及びひきこもり支援に関する民間団体活動助成事業</p>
<p><b>実施主体</b></p>	<p>認定NPO法人キッズドア、小安美和（株式会社Will Lab）、          田中彩（NPO法人ママワーク研究所）、          蒲生智会（株式会社スリーアウル）</p>

## 就労支援の取組：わたしみらいプロジェクト②

- 子育てと仕事の両立方法や自分の生活状況にあった仕事の見つけ方、実際の履歴書の書き方等を提供するプログラム。
- 個別に講師と相談する機会や求人を持つ企業との出会いの場も用意。

### 「わたしみらいプロジェクト」のプログラム内容

はたらくマインド醸成～企業との出会いまで寄り添い、伴走します



#### ■ セミナー内容

- 第1回：子育てと仕事とわたしの未来～どうやって両立する？～
- 第2回：どうなる？未来のお金とキャリアプラン
- 第3回：強みを知る
- 第4回：履歴書、職務経歴書の書き方
- 第5回：印象を高めるプレゼンテーション、面接のコツ

## 就労支援の取組：わたしみらいプロジェクト③

- 2021年度、本プログラム参加者が、プログラム参加後に実際に取った行動は以下のとおり。

実際に取った行動	第1期	第2期	第3・4期	第5・6期
企業相談会参加企業への申込	0名	2名	4名	5名
一般企業への申込	14名	7名	14名	8名
民間や行政などが実施する、スキル獲得のための講座への応募	12名	1名	11名	19名
その他	1名	22名	35名	32名

### <ステップアップの事例>

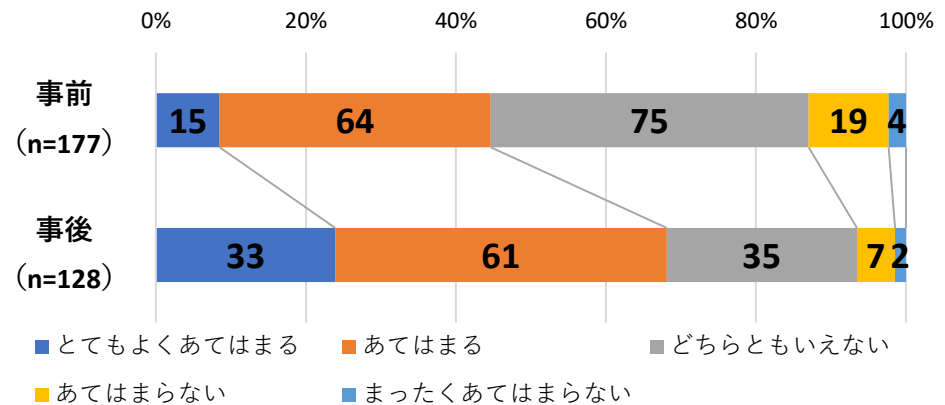
- 持病があり長らく働けませんでした。面接を受けたり、単発の仕事を登録したり頑張ってみました。
- 現在の仕事にも転職を意識して取り組むようになりました。タイミングよくお給料も少し上がり、ラッキーです。
- 8年間、専業主婦をしています。プロジェクト参加中に就職先が決まり、来年2月から働き始めます。
- 3月下旬から、地元企業で事務の仕事をするようになりました。



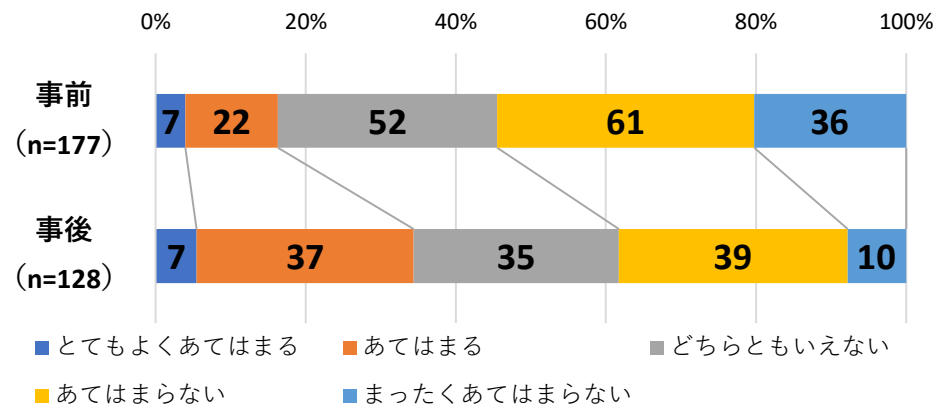
# 就労支援の取組：わたしみらいプロジェクト④

- 参加者へのアンケートのうち、仕事選びや就職への準備に関する結果は以下のとおり。

## 希望する仕事を決めるのに、必要な情報・資料を自分で集めている



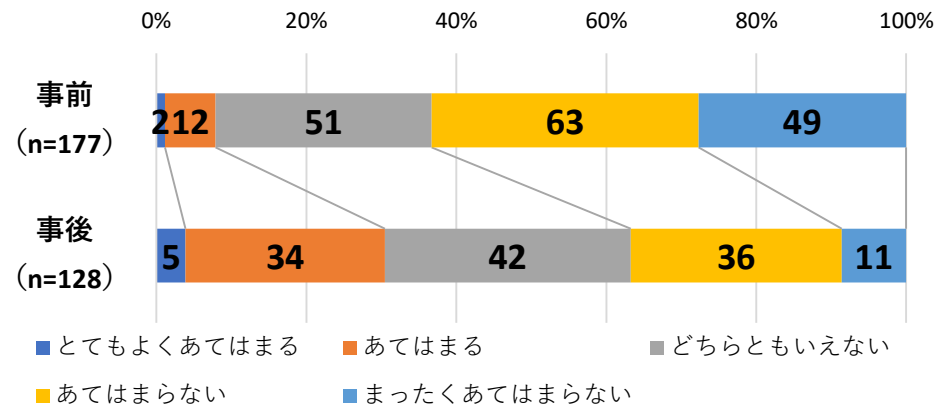
## 就職に対する準備（履歴書、面接、試験など）が整っている



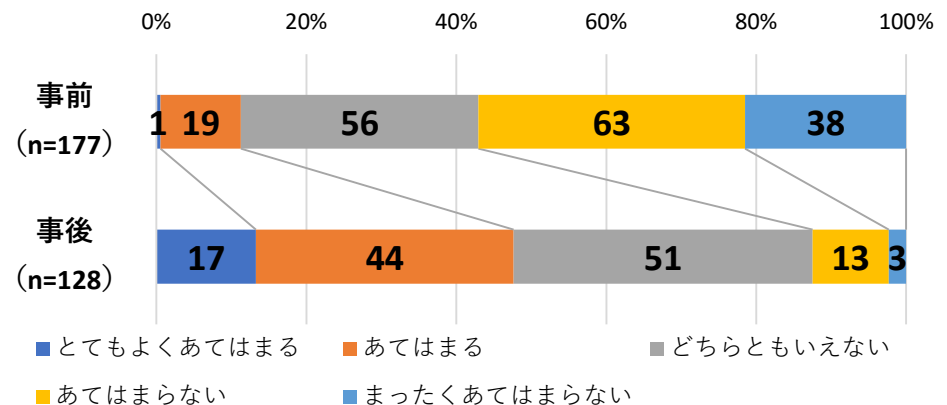
# 就労支援の取組：わたしみらいプロジェクト⑤

- 参加者へのアンケートのうち、キャリアに関する相談者やロールモデルとの出会いについての結果は以下のとおり。

## キャリアについて相談できる相談者やメンターがいる



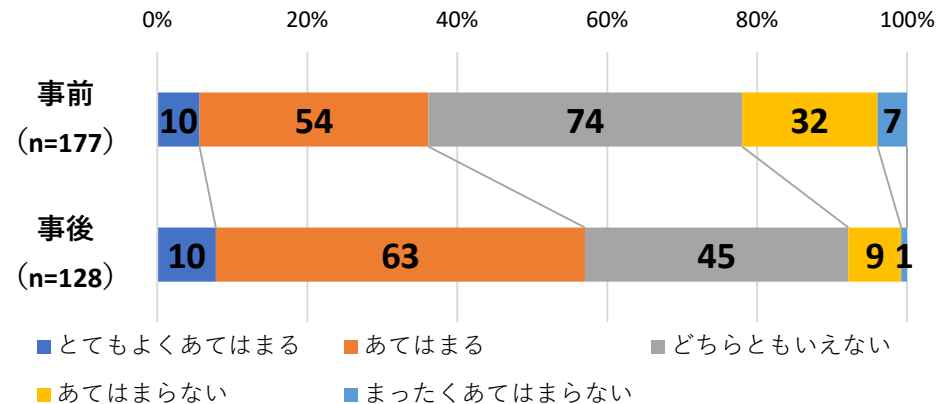
## わたしみらいプロジェクトで、お手本にできる人と出会えた



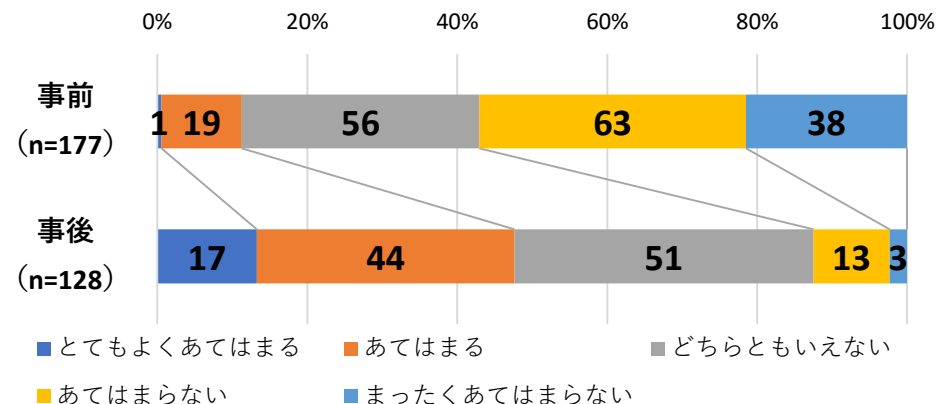
# 就労支援の取組：わたしみらいプロジェクト⑥

- 参加者へのアンケートのうち、自己肯定感や子どもへの影響に関する結果は以下のとおり。

## 自分のことを好ましく感じる



## プログラム参加を通して、子どもへの良い影響があった



# 登録者の就労支援ニーズと利用実態

- ファミリーサポート登録者の就労支援に対するニーズは高いものの、既存の就労支援がうまく活用されていない状態。

就労支援ニーズ  
**高い**

- 「わたしみらいプロジェクト」には合計311名の応募。
- IT系オンライン学習プログラム（定員10名）に合計108名の応募、MOS等の資格取得支援に177名の応募。

既存就労支援  
**利用できていない？**

- ファミリーサポート登録者へのアンケートでは、既存の就労支援の取組を知っていても、利用していないというケースが目立つ。

その要因は？



**経済的支援の不足**

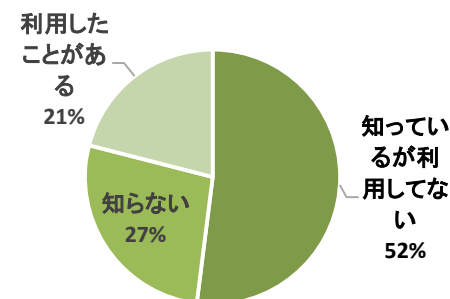
**時間的な制約**

**自己肯定感の低さ**

## 【参考】ファミリーサポート登録者へのアンケート①

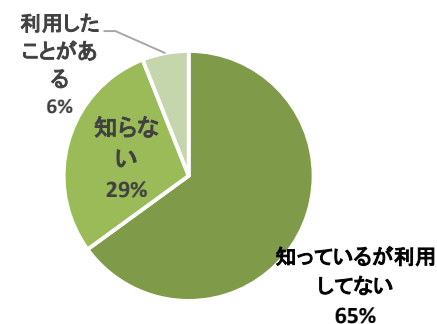
- ひとり親や生活困窮されている方のために、国や行政で様々な就労支援事業を行なっているのを知っていますか？

- **知っているが利用してない：52%**
- 知らない：27%
- 利用したことがある：21%



- 母子家庭父子家庭の看護師、介護士等の資格取得を支援するための高等職業訓練促進給付金等事業を知っていますか？

- **知っているが利用してない：65%**
- 知らない：29%
- 利用したことがある：6%



## 【参考】ファミリーサポート登録者へのアンケート②

### 既存の就労支援の取組を利用しない理由

#### 経済的支援 の不足

- 「母子家庭で高等職業訓練を受けると自己負担率が高すぎて利用できません。」
- 「10万じゃ生活できないから、看護師の資格取れない」
- 「働きながら勉強したい。収入を途切れることなく貰いたい」
- 「ハローワークのは、失業者向けのプログラム。働きながらスキルアップ目指したい。」

#### 時間的な制約

- 「時間的にも経済的にも体力的にも、余力がない。」
- 「なかなか時間や曜日が合わなかったり、田舎なので開催がなかったりします。」
- 「日程が合わなかった」

#### 自己肯定感 の低さ

- 「自分にまったく自信がなく、できることなんて何もないと思ってしまう」
- 「年齢とスキルの無さに落ち込んでいました」



# わたしみらいプロジェクトのアプローチの有効性

- わたしみらいプロジェクトでは、既存の就労支援とは異なるアプローチができていると確認。

経済的支援の不足  
に対するアプローチ

## 無償

回答数：17人  
回答率：50%

※アンケート未回答者を除いた全体のうちの割合

時間的な制約  
に対するアプローチ

## オンライン

回答数：21人  
回答率：62%

※アンケート未回答者を除いた全体のうちの割合

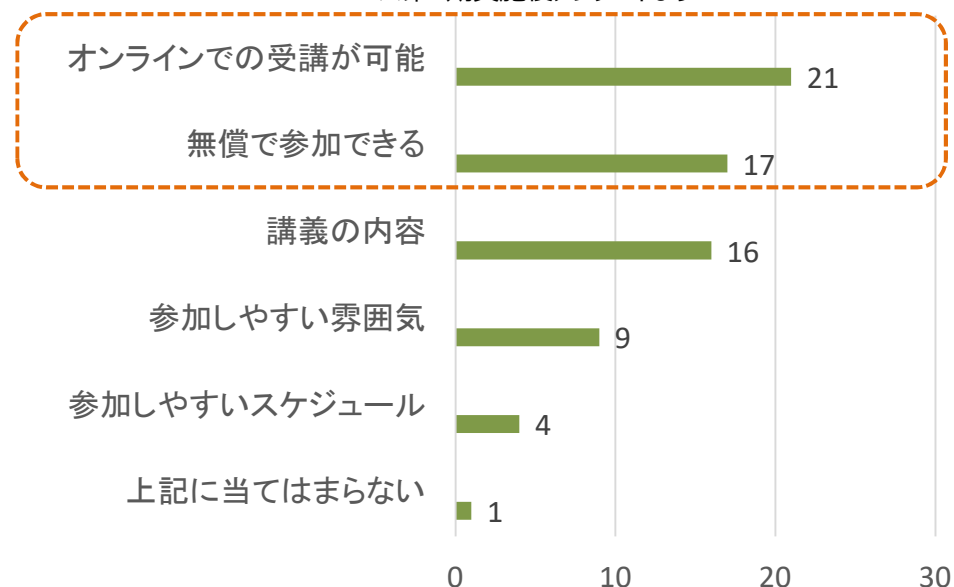
自己肯定感の低さ  
に対するアプローチ

## 寄り添い・同じ境遇の仲間との出会い

- ・ 「ふだんの生活では出会えない、同じような悩みを抱えているひとり親のお母さんたちと出会え、語り合ったことのないはなしを共有できました。想像以上に心が軽くなりました。」
- ・ 「自信がなく自己評価が低くなりがちですが、波乱万丈でもこれまでの生き方にもっと自信を持っていいんじゃないかと思えました。わたしも転職回数多めなので、そのことをポジティブに捉えたいです。」

### ✓ 当プロジェクトの最もよかった点（複数回答）

※第1期実施後アンケートより



# 困窮シングルマザー等への就労支援のあり方

## 【困窮子育て女性の現状】

- 多くが生計維持のために就労中であり、家事・育児の負担も大きい。
- 出産や育児など理由は様々であるが、非正規雇用の割合も高い。
- 非正規ではスキルなどの獲得が難しく、子どもの成長とともに就労の余裕が生まれても、なかなかステップアップできない。年齢も課題になる。
- 困窮し孤立する中で、自分に自信がない、相談できる相手がいないケースも。

**支援に  
求められること**

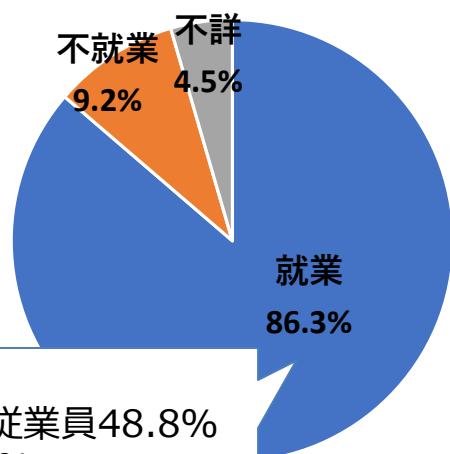


- ✓ 失業中ではなく、働きながらキャリアアップを目指せるプログラム（時間・場所の制約の少ないオンラインも有効）
- ✓ 疲れ切った状態の場合は、職業訓練や学習期間の十分な生活保障
- ✓ 意欲・能力のある人が、非正規から正規へと移行できる道
- ✓ 自信をもって就労に臨めるようにするメンターや心理的サポート

## 【参考】母子世帯保護者の就業状況

- 就業率は高く、8割を超える。
- 就業中の保護者のうち、派遣社員やパート・アルバイト等では3~4割が「仕事を変えたい」と考えている。
- 就業中の保護者の中で、「仕事をやめたい」と考えている割合は1%と極めて低い。

### ひとり親（母）の就業率



うち、  
正規の職員・従業員48.8%  
派遣社員3.6%  
パート・アルバイト等38.8%

### ひとり親（母）の転職希望

